

Lions Quest「思春期のライフスキル教育」プログラム
2011年加西ワークショップ
アンケート結果

開催日 平成23年8月3日（水）・4日（木）

場 所 加西市健康福祉会館

主 催 ライオンズクラブ国際協会335-D地区
3R1Z 加西ライオンズクラブ

共 催 加西市教育委員会
後 援 兵庫県教育委員会

講 師 北山敏和（特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム）

参加者 25名

作 成 金沢栄一（加西ライオンズクラブ2011年度教育奉仕委員長）

ライオンズクラブが用意したアンケートへの回答から、主たるものを抜粋し要約しております。(類似した回答については、主なものだけ記載しております。)

1－(1) このプログラムについて～良いと思われる点

取り扱っている内容が身近な問題であり、具体的な指導方法を提示して実践できるよう配慮されているため、子供も興味を持って取り組めると思われ、大変良かった。
ライフスキル教育に関する専門的な知識を、先生と生徒役を順に体験する等の実践をもって会得できたことが良かった。
他の学校の先生方と、現代の青少年像を考えながら、ゲーム的要素を取り入れたワークショップで、非常に分かりやすい講師の説明のもとに、常にいい雰囲気を受講できた。
講義は、系統立って段階を踏んで進んで行き、次のステップにどう繋がっていくのかを自分なりに考えながら、積極的に参加することができた。
押しつけの講義ではなく、参加者自身が自ら考えて答えを出せる点が良かった。
普段は、子供に様々なことを教えようとしてしまいがちだが、逆に、子供から様々な答えを引き出すという視点をもてるようになったのが良かった。
発達段階に応じて、同じテーマ(課題)でもやり方が違い、どの学年でも生かせるのではないかと思われ、授業に即使用可能な教材となっている。
ロールプレイの本来の意味が分かった。
問題にぶつかった時に、どうすればよいか、どのように考えればよいか、解決の方法・手順をスキルとして教えてもらった。
短時間の間に、数多くのスキルを学習することができ、非常に濃密な時間を過ごすことができた。

1 - (2) このプログラムについて～改善を要する点

講師が話された内容をまとめた冊子があっても良いのではないかと思った。
ライフスキル教育のワークショップについては、よく知らない方が多いと思われるので、普及の仕方を検討される必要がある。
盛り沢山のプログラムのため、理解が不十分なまま進んでいった感もある。
一日で学ぶ量が多いので、期間を長くして欲しい。
2日間は必要な時間だとは思いますが、受けようと思うにはハードルが高いので、入門編とかコンパクトな講習があってもよい。(興味を持ったなら、さらに2日間コースへ進んでは…)
もう少し、じっくり取り組みたいものもあった。
プログラムの内容を、直接、授業時間の中で実施できる項目(プログラム)は少ないと思われた。

- 2 今後、それぞれ所属の学校現場で導入する場合、課題と思われる点、又はご要望がありましたらお書き下さい。

今回、他の先生方と短時間ながら考えたり、講師の指導助言や優しい一言があったからこそ実践できたということもあり、学校現場での導入には少し不安がある。

教材だけでは、分かりにくいところがあるので、DVD等、映像教材（教師向け）があればと思う。

年間行事の中で、どのように時間調整をして導入時間を設定するかが課題となるう。

教材の内容の中に、自分でも理解しにくいところがあり、説明しきれないことがある。

自分をもっとライフスキルを理解するとともに、生徒が理解しやすく、授業に入りやすい指導方法を考える必要がある。

教師のノウハウの1つとして、たいへん貴重なことを沢山学べ貴重な体験ができたと感じるが、一方で、小学校の道徳や教科との関連は、今一つ難しいというか、希薄と思われる。

研修したことを職場の先生方に伝えるだけでは、先生方の十分な理解を得ることは難しいと思われるので、学校全体で取り組むためには、毎年少しずつでもワークショップを受講してもらい、ほぼ先生全員が体験するようになればよいであろう。

ライフスキル教育を、保健指導に生かせる指導方法等を学びたい。

思春期が対象ということだが、小学生に導入する際の事例をもっと知りたい。

それぞれの単元で、数十時間の指導プログラムが組み立てられているが、その時間をどのように確保していくかが問題と思われる。また、全て大事なことであるが、特に、これだけは外せないという重点箇所が示されればよいと思う。

児童（思春期をむかえる前の）用のプログラムも教えて欲しい。

3 ワークショップに参加しての感想をお書き下さい。 No.1

実体験をもとに、ロールプレー等具体的体験をできたのは、大変よかった。

自分でも知らなかった、人生を円滑に生きるためのヒントとなるようなことが、沢山あった。また、生徒を引きつけられる授業というものを感じることができ、充実した2日間だった。

見知らぬ人と係わり、一緒に何かをし、活動し、笑うといった時間を与えていただき、有り難うございました。

最初は、どんな内容か不安だったが、2日間参加して、大変有意義な体験ができたと感じている。

学校で「ライフスキル教育」というものに出会い、よくわからないまま行っている部分もあったが、少しずつ分かってきたような気がする。

また、いろんな手法や方法を知ることができ、学校でさらに工夫して生かしていけるような気がした。

講師の先生がすごく楽しい方で、和やかな雰囲気を受けることができたことが、一番よかった。

このライフスキルの研修は、現場の教育で必ず役に立つと思う。

我々教師は、教材研究などはよくやっているが、現実の青少年と向き合う技術を持っていないと思われるので、人間として必要となるスキルを改めて学ぶことで、人に教育する力を身につけたと思う。

LQのライフスキルを進める際に使う方法を、この講座を受けることにより、具体的に知ることができた。

2日目になるほど、楽しく受講でき、このスキルは、一生を通じて生かせる方法だと思った。

正直、少々気恥ずかしい気分を持ちつつ2日間すごしたが、実りは大きかったと思う。

今後授業を行うときには、今までよりも自信を持って行えそうな気がする。

ライフスキルについての多くのことを学ぶことができた。特に、講師が一方的に意見を押しつけたり誘導するのではなく、生徒が自分自身で考えて答えを見つける大切さを学ぶことができた。

3 ワークショップに参加しての感想をお書き下さい。 No.2

コミュニケーションをとることが苦手で、また、友達を気遣い合わせてしまうことが多い今の子供達に、是非身につけさせたい能力だと感じた。

今の子供達にとって、ライフスキルはとても大切で重要な教育だと感じたので、今後、もっともっと勉強していきたいと思う。

講師の方が、非常に楽しく、しかも実践に役立つことを、自分も実際に体験する中で学べてよかった。

子供に教えるだけでなく、自分の人生のスキルとしても大切であると感じた。教師だけでなく、いろいろなところで広められると、世の中のためになり、ライオンズのウイサーブの精神に合致すると思われるので、どんどん広めていけばよい。

最初は、どんな感じなのだろうかと、すごく緊張していたが、2日間参加して、本当によかったと感じている。学校の児童に身につけて欲しいと思う内容ばかりだった。講師の話がとてもおもしろく、自分もあのような話術を身につけたいと思った。

校種の違う人、年代の違う人など、加西市で同じ教師をしていても、殆ど接点のなかった人と知り合うことができ、大変よかった。

意識して実践していくのではなく、普段の生活の中で子供達と話す際に、よく話を聞いて話を引き出していきたいと思う。

良い悪いの決めつけではなく、多様な考え方を肯定しながら、スキルを身につけていくことの大切さが、よく分かった。

参加する前は、丸2日という期間が長いと感じていたが、実際に参加してみると、楽しい活動も多く、とても充実した時間が過ごせた。

(注) 多数の先生が、「有り難うございました」「参加してよかった」と記載されていますが、ここでは一部のみの記載に止めております。

